

精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導

[講義・演習] 第3学年 後期 選択 1単位

《履修上の留意事項》次年度実習に行く学生は、単位取得にかかわらず受講することが望ましい。
この科目と合わせて精神保健福祉ソーシャルワーク実習も必ず履修すること。
【面接授業のみ実施】

《担当者名》 向谷地 生良 佐藤 園美 奥田 かおり 鈴木 和 佐々木 敏明(客員)

【概要】

精神障害者やその生活のしづらさ、精神保健福祉援助の知識と技術について個別指導及び集団指導を通して実践的に学ぶ。

【学習目標】

1. 実習の意義と概要を説明できる
2. 精神障害者の置かれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解できる
3. 精神保健福祉援助に係る知識と技術を理解し、実践できる

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	科目の概要、実習に関するスケジュール 実習、実習指導における個別指導と集団指導の意義	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
2	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解	精神保健福祉、精神医療の現状と精神保健福祉士の役割	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
3	精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術の理解	自治体など公的な機関で働く精神保健福祉士の実践	武市浩之(特別講師) 向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
4	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解	精神科病院の仕組みと求められる精神保健福祉士の役割	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
5	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解	依存症を抱えた当事者の体験談	サマリヤ会当事者スタッフ(特別講師) 向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
6	精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務の理解	精神保健福祉士の役割	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
7	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解	統合失調症などを持つ当事者の体験を聞く	池松麻穂(特別講師) 向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
8	実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解	守秘義務について	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
9	「実習日誌」への記録内容及び記録方法に関する理解	実習日誌およびプロセスレコードの書き方	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
10	実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する理解	事前学習 実習施設の理解(根拠法、施設の役割等) 地域研究(実習施設がある地域に関する理解)	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
11	現場体験学習及び見学実習(地域事業所)	1日体験学習 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する理解	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
12	現場体験学習及び見学実習(地域事業所)	1日体験学習 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する理解	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
13	現場体験学習及び見学実習(医療機関)	1日体験学習 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する理解	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
14	現場体験学習及び見学実習（医療機関）	1日体験学習 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する理解	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
15	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解	精神障害者の家族の方の体験談	森美千代（特別講師） 向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
16	実習計画書の作成	体験学習を踏まえ、実習計画書の作成をする	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
17	精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術の理解	司法分野でのソーシャルワーカー（社会復帰調整官）の実践	佐野理恵（特別講師） 向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
18	実習計画書の作成	体験学習を踏まえ、実習計画書の作成をする	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
19	実習計画書の作成	体験学習を踏まえ、実習計画書の作成をする	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
20	実習前オリエンテーション	実習に向けた全体オリエンテーション 必要書類の配布等	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
21	実習打ち合わせ	実習生、実習担当教員、実習指導担当者との三者で実習課題の検討	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
22	事前訪問	実習指導担当者との打合せ実習の事前訪問。 実習に関する最終確認	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木
23	実習（12日間） （学生の帰校日）	実習生との面接、グループでの実習の振り返り 実習の進捗状況等の確認	向谷地、奥田、佐藤、鈴木、佐々木

【評価方法】

外部講師、体験実習等各種レポート 100%

【備考】

教科書：使用しない。必要に応じて講義資料を配布する。

参考書：その都度紹介する。

その他：この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「精神保健福祉援助実習指導」に該当する。

【学習の準備】

特別講師等、毎回の授業内容を確認し、内容にそって事前学習、レポート作成等の課題を行う。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3,4,5

【実務経験】

向谷地生良（精神保健福祉士）、佐藤園美（精神保健福祉士）、奥田かおり（ソーシャルワーカー）、鈴木和（精神保健福祉士）、佐々木敏明（ソーシャルワーカー）

【実務経験を活かした教育内容】

精神保健福祉士、ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。